



鳥栖っ子

学校合言葉

～ わ を つ く ろ う ～

令和7年9月10日(水)

鳥栖市立 鳥栖小学校

文責 校長 古賀 泰伸

“手と手をつなぎ 心をつなぎ わ になって” みんなで助け合う みんなの笑顔のために

来ました!!「とりこさん号」



報道では、移動図書館「とりこさん号」の出発式の様子が流れていたかと思いますが、このたび、PTA連合会より寄贈されたとりこさん号が、9月3日に鳥栖小学校にもお目見えしました。

この日のお昼休みに、校舎西側にある渡り廊下に来て、児童への本の貸し出しをしてもらいました。この日は、本校において初めての対応ということもあり5・6年生のみの貸し出しといたしました。5・6年生の児童は、貸し出しの時刻になると実際に本を借りたり、様子を見に来たり。他学年の児童においても、遠目から様子を見てと興味津々。活字離れが心配される昨今。少しでも読書習慣につながればと期待しているところです。

ちなみにですが、とりこさん号から借りた本は、市立図書館だけでなく、学校やとすまちづくり推進センター、サンメッセ鳥栖でも返却ができるそうです。

出前講座などが目白押し

2学期も2週間が過ぎ、子どもたちの学校生活も落ち着きを見せているところです。学校では、他よりも長めの学期ということもあり、様々な取組を行っています。

9月3日には、5年生を対象に「災害への備え」をテーマに、日本赤十字社より講師をお迎えして災害対策について学びました。夏休み中には熊本を中心とした



赤十字社の講座授業

水害等も発生していることから、児童は災害のレベルに応じた対応の仕方などを学びました。



久光製薬の出前授業

5日には、5年生を対象に久光製薬の出前講座を行いました。

久光製薬は、鳥栖市からスタートした製薬会社とい

うことはいうまでもありませんが、工場の紹介や商品ができるまでの紹介、また、SDGsへの取組等についてクイズを交えながら紹介がありました。

見学にいかなくても、工場の仕組み等について学べる良い機会となりました。

9日、6年生を対象に租税教室を行い、税金について学びました。

当日は、佐賀県租税教育推進協議会から3名の講師



租税教室

に来ていただき、ビンゴゲームやアニメを通して、税の仕組みや大切さだけでなく、使い方を決めるのは、みんなの代表者だから選挙も大切という話までしていただきました。子どもたちも、楽しく学ぶこともできたようで「税金は必要」という考えをもつことができたようです。

このように、鳥栖小学校では、体験授業や出前授業などを通して学びを深めていっております。今後も、各種団体はもちろんのことPTAとも協力をしながら、子どもの学びを充実させていきたいと考えております。